



2023年7月31日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山雅彦
(コード番号 6938 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営推進本部長 中西 港二
(TEL 03-5730-4500)

2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年1月31日に公表した2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、通期業績予想を修正しましたので併せてお知らせします。

記

1. 2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2023年1月1日~2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,200	100	100	20	1.20
実績値(B)	5,956	190	229	97	5.70
増減額(B-A)	△243	90	129	77	—
増減率(%)	△3.9	90.6	129.0	387.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	6,135	214	330	2	0.14

2. 2023年12月期通期連結業績予想の修正(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,800	500	500	330	19.30
今回修正予想(B)	11,800	300	330	110	6.43
増減額(B-A)	△1,000	△200	△170	△220	—
増減率(%)	△7.8	△40.0	△34.0	△66.7	—
(ご参考)前期実績 (2022年12月期通期)	9,503	411	512	35	2.10

(注)前期は決算期を変更したため、前期実績は2022年4月1日から2022年12月31日の9ヵ月間の数値

3. 2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異の理由

売上高は、主に積層誘電体フィルタの新規格Wi-Fiや第5世代移動通信システム(以下、「5G」)向けが、北米での金融引締めの影響等による通信インフラ投資の停滞により減少し、前回発表予想を下回りました。

一方利益は、売上高は減少したものの、部材の調達コスト抑制や輸送コスト削減、双信マレーシアの生産体制強化に伴う生産性の改善等により増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回発表予想を上回りました。

4. 2023年12月通期業績予想の修正の理由

下期の売上高は、半導体不足の緩和により回復基調にある車載市場向けの厚膜印刷基板や、サプライヤーからの部材供給が再開した鉄道インフラ用LCフィルタは堅調に推移する見通しです。

一方、積層誘電体フィルタは、新規格Wi-Fiや5G市場の回復には今しばらく時間を要し、客先の在庫調整が続く見込みであることから大幅に減少する見通しです。また、上期堅調に推移したノイズフィルタは、半導体メーカーの設備投資抑制や生産調整などの影響により減少する見通しであることなどから、前回発表予想を下回る見通しです。

利益は、上期に引き続きコスト削減や生産性改善効果を見込むものの、主に売上高の減少影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を下回る見通しです。

(注記)

業績予想は、現時点で得られた情報にもとづいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以上